

評価細目の第三者評価結果（高齢分野）

支援の基本

特養1-①、通所1-①	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 入所前の事前調査や入所時のアセスメントを行うことで、利用者の生活習慣や生活環境の把握に努めている。またアセスメント欄に本人の希望や嗜好を記入する欄があり、カンファレンスの際にその人らしい生活への支援ができるよう検討している。意思の表出が困難な利用者には、寄り添いながら表情やしぐさ等を観察し、得られた情報を基に、思いや意向を把握している。習字、折り紙、フラワーアレンジメント等の趣味活動に取り組まれている方や歌番組を見たり、CDを聞いたりして過ごされる方、やホーム内の喫茶でボランティアの方とおしゃべりを楽しまれる方等それぞれ思い思いに過ごされている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
訪問1-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ、自立した生活が営めるよう支援している。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養1-②、通所1-②、訪問1-②	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 難聴の方や話をすることが困難な方にはホワイトボードを活用した筆談を取り入れたり、文字盤を使う等して意思の疎通を図っている。接遇研修の実施を通して、利用者を尊重した接遇態度や利用者とのコミュニケーション技法等を学んでいる。部屋に閉じこもりがちな利用者に対しては担当職員が部屋を訪問したり、声かけする等働きかけている。また介護相談員の来訪相談の実施や相談窓口を明記することで利用者が意見を言いやすい環境を整えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

身体介護

特養 2-①、通所 2-①、訪問 2-①	第三者評価結果
入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>バイタルチェック後、週2回、1対1で入浴支援を行っている。その方の身体状況に応じて個浴、椅子浴、寝浴等多種の入浴形態をとっている。入浴を拒まれる方に対しては、シャワー浴や清拭で対応している。脱衣室には冷蔵庫が設置されており、入浴後の水分補給に活用されている。また保湿クリームが置かれており、必要に応じて使用されている。浴槽チェアに移動の際は座位を確認したり、床にマットを敷いたり、ぶつかりそうな所にはタオルを巻く等、安全の確保に留意している。浴室内は、エアコンの他、床暖房やヒーターが設置されており、快適に入浴をしていただけるよう配慮している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養 2-②、通所 2-②、訪問 2-②	第三者評価結果
排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>座位の高さを加減し、腹圧がかりやすいようにオーダーメイドの手すりを設置している。個室のトイレは車いすでの利用がしやすいように両開きのドアになっている。夜間には、睡眠を妨げないように、ポータブルトイレを使用したり、大きめのパットを使用したりして睡眠の確保に努めている。また排便コントロールのため、下剤の服用だけでなく、水分補給に留意したり、希望者には補助食品を提供したりしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養 2-③、通所 2-③、訪問 2-③	第三者評価結果
移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者の身体状況に合わせて車いすを選択できるように準備している。また適切な使い方についても早期に指導している。また車いすの点検についてもチェック表を用い、常時点検したり、手入れしたりしている。より利用者にあった車いすを選択するため、介護機器レンタル業者の協力も仰いでいる。自立に向けた動作として、トイレでのつかまり立ちを行うことで、少しでも力がつくように働きかけている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養 2-④、通所 2-④、訪問 2-④	第三者評価結果
褥瘡の発生予防を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>口腔ケアを行う際やオムツ交換時、または夜間の巡回時等に体位交換をして、発生予防に努めている。利用者によってはエアーマットも準備されている。車いす利用の方にも、声かけをする等して少</p>	

しでも姿勢を変えていただくようにしている。褥瘡についての勉強会を開き、利用者一人ひとりについての原因を見つけ出し、発生予防に努めている。

改善できる点/改善方法：

食生活

特養 3-①、通所 3-①、訪問 3-①	第三者評価結果
食事をおいしく食べられるよう工夫している。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>毎年、嗜好調査を行い、業者に伝え、管理栄養士と共に献立を立てている。ふりかけや漬物等常備し、冷蔵庫や電子レンジを設置し、温冷配膳車を使用する等、適時適温での食事の提供に努めている。行事食や季節食を企画したり、バイキング方式の食事にしたたり、2ヶ月ごとの有料の「グルメクラブ」で、握りずし等好みの品を注文していただく機会も設ける等、食に対する関心を高めている。その日の献立をわかりやすく掲示したり、席の配置を考慮したり、食器を検討したり、お品書きを作ったりする等、楽しく美味しく食べていただくよう細かな配慮や工夫がされている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 3-②、通所 3-②、訪問 3-②	第三者評価結果
食事の提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>主食は、米飯、軟飯、全粥、流動食等、副食は普通食、刻み食、極刻み食、流動食、ソフト食等揃え、利用者に合わせた食事形態を用意している。また各種の自助具を準備し、できる限り自分で食べていただけるよう工夫している。長時間座っていることが困難な方には、車椅子をリクライニングにしたり、顎の前傾等姿勢に注意して、食事に集中できるよう配慮している。管理栄養士が利用者全員の栄養プランを立てている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 3-③、通所 3-③、訪問 3-③	第三者評価結果
利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	A・㉠・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>起床時、食後、就寝前には歯磨きを行い、チェックも行っている。また濡れティッシュやマウススポンジを使用し、口腔ケアを行っている。義歯が合わないとか痛みがある場合はその都度、訪問歯科の往診を受けている。また職員間で歯科医師からの資料で口腔機能やケアについて学び実践している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
<p>利用者一人ひとりについての口腔ケアに関するプランの作成や口腔機能の定期的なチェックの実施に向けて取り組まれることに期待する。</p>	

終末期の対応

特養 4-①、訪問 4-①	第三者評価結果
利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>看取りケアのマニュアルを整備し、研修も行っている。利用者、家族に対し、入所時に看取りケアについて説明を行っている。重度化した場合や看取りの時期で医師から複数回、説明があり、家族の不安に込えている。家族の付き添いもできるようソファベッドや折り畳みベッドが準備されている。また夜間でも看護師やケアマネージャーが駆けつけられる体制を整えている。看取り委員会において、勉強会を開き、学びを深めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

認知症ケア

特養 5-①、通所 4-①、訪問 5-①	第三者評価結果
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者一人ひとりの状態を見守り、観察する中でどのような声かけをすれば安心し、落ち着かれるか、いろいろと試みながら、職員間で協議している。施設内での研修では、対応で困った場合について、様々な職種間で検討し、その対策について探っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
特養 5-②、通所 4-②、訪問 5-②	第三者評価結果
認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者の行動を観察しながらその背景を探り、誰と一緒に過ごす事が落ち着けるのか、どこにいると安心できるのか等について見つけ出すよう努力している。担当者だけに任せるのではなく、職員全員で見守る事としている。洗面所では手の届かない位置に物を置き、また道具として使うハサミ等の危険物については一覧表を作り、管理している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

機能訓練、介護予防

特養 6-①、通所 5-①、訪問 6-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 看護師でもある機能訓練指導員が、機能訓練計画を策定している。利用者の意見を聞きながら日常生活の中で利用者が自然に行うことができる生活リハビリを行っている。居室の選定についても利用者の歩行距離を考えながら居室の場所を決定している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

健康管理、衛生管理

特養 7-①、通所 6-①、訪問 7-①	第三者評価結果
<p>日常の健康管理が適切に行われている。</p>	A・ Ⓑ ・C
<p>良い点／工夫されている点： ケアプランの中に、風邪を引きやすい、浮腫が発生しやすい等、利用者一人ひとりについて留意すべき内容が明記され、関係職員で情報を共有している。誤薬を防ぐため、利用者の目の前でフルネームで復唱し、確認している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 職員に対して、利用者に参加している薬の効能や副作用についての研修が十分に行われていないようであるので、今後、研修の充実に向けた取り組みに期待したい。</p>	
特養 7-②、通所 6-②、訪問 7-②	第三者評価結果
<p>必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。</p>	A・ Ⓑ ・C
<p>良い点／工夫されている点： 利用者の異変に素早く気づけるよう利用者固有の症状や危険性についてカンファレンスを通じて職員間で共有している。利用者の行動を細かく観察し、早期発見、早期対応に努めている。医療的ケアに関する記述のある職員マニュアルを配布し、迅速な対応に心がけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 各種医療的ケア対策について詳細なマニュアルを整備し、より万全な医療に関するリスクマネジメント体制の構築に向けた取り組みに期待したい。</p>	
特養 7-③、通所 6-③、訪問 7-③	第三者評価結果
<p>感染症や食中毒の発生予防を行っている。</p>	A・ Ⓑ ・C
<p>良い点／工夫されている点： 訪問時に玄関先ですぐ手指消毒を勧められた。マスクも準備され、来訪者が感染源にならないよう配慮している。感染症や食中毒に関する研修を定期的実施したり、空気清浄機を設置する等して予防に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 今後とも、結核対策マニュアルの整備を徹底し、研修を充実させ、予防、早期発見、早期対応体制の充実に向けた取り組みに期待したい。</p>	

建物・設備

特養 8-①、通所 7-①	第三者評価結果
施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ゆったりとした造りで、窓が大きく日差しが入る明るい建物である。間接照明が施され、柔らかな光の中で、ウッドデッキに出て、思い思いに過ごされている。各フロアには複数の加湿器が設置され、快適な湿度が保たれている。玄関ホールや通路の片隅等のスペースにお雛様が飾られ、華やかな雰囲気を出している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

家族との連携

特養 9-①、通所 8-①、訪問 8-①	第三者評価結果
利用者の家族との連携を適切に行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>家族会が組織されており、定期的に行われ、連携を図っている。各種行事の案内を送付し、参加を促している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

サービス提供体制

訪問 9-①	第三者評価結果
安定的で継続的なサービス提供体制を整えている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	